



学校教育目標  
自分や相手を大切にし、  
考えて行動する名瀬っ子

# 名瀬小だより

## 4月号

令和5年4月7日  
横浜市立名瀬小学校  
校長 中嶋 孝宏

### 新たな出会いを大切に



校長 中嶋 孝宏

桜が満開を迎える時期となりました。今年は例年より開花が早く、本日の始業式・入学式には散り始めていますが、新たな緑の葉が顔を出し、力強さも感じることができました。今年も桜を見ることができて嬉しく思います。1年間かけて養分を溜めて年に1回だけ、この時期に咲く桜はやはりきれいで「今年もこの時期が来たな」と思わせてくれます。そして、「来年またこの桜を見るためにやっぴいこう」という気持ちにさせてくれます。

二十四節気では、この時期を清明（せいめい）といい、万物が清らかで生き生きとした様子を表した「清浄明潔」という季語から名がきています。花が咲き、蝶が舞い、空は青く澄み渡り、さわやかな風が吹く時期です。冬の間、暖かい東南アジアの島々で過ごしていたツバメが海を渡って、日本にやってくる頃でもあります。野菜では新ジャガイモや春キャベツが旬を迎えます。新ジャガイモのほくほくさや、春キャベツのさっぱりとしたそして甘い味はこの時期ならではの最高です。

子どもたちも、気持ち新たに令和5年度が始まりました。この時期は新しい仲間との出会いの時期でもあります。この出会いから仲間をつくり始めることで自分も豊かになります。

始業式で子どもたちに今日の新たな出会いを大切に「なりたい自分になる」という話をしました。昨年からの仲間でも、この新たな仲間の中では、また新しい出会いや発見があります。この新たな気持ち、出会いを今日からの生活につなげていってほしいと思います。

そして、「こんな自分になりたい」という目標をもつことはこの新たなスタートの時期にとっても必要です。人は、一人ひとりの思いや気持ちは同じではありません。そして、4月は進級して学年が上がることで「やってみよう」という新たな気持ちはだれにでも少なからずあります。その気持ちを大事にしてほしいのです。「こんな自分になりたい」という目標があれば、そのためにこの1年間どんなことに取り組めばいいかを考えることができます。

「なりたい自分になる」ための「具体的な取組」を1つ決められるとすてきです。大きな取組でなくてかまいません。たとえとても小さな取組でも、目標に向かって取り組むことに価値があり、その小さな取組の積み重ねこそが大きな収穫となります。ぜひその小さな取組を期待しています。

地域の皆様、保護者の皆様、いつも温かく名瀬っ子を見守ってくださり、ご理解ご協力に誠に感謝いたします。職員一同新たな名瀬のチームで取り組んでまいります。今年度も協働した取り組みをどうぞよろしくお願いいたします。